

# 2023年度事業計画

自2023年4月 1日  
至2024年3月31日

## I 事業活動方針

当財団が管理・運営する石橋文化センターは株式会社ブリヂストン創業者であり、久留米市名誉市民である石橋正二郎氏が「世の人々の楽しみと幸福の為に」と地域の発展を願い、1956年に建設、久留米市に寄贈した複合文化施設です。

今年度も2021年度からスタートした当財団の基本計画（2021年度～2025年度）に基づき、石橋文化センターの「美術館」、「ホール」、「庭園」の3つの機能に更に磨きをかけ、地域の文化芸術と観光振興の両面から更なる地域社会への貢献を目指します。

中核施設の久留米市美術館は、2022年10月に公益財団法人石橋財団の全面支援による搬出入口棟が完成し、より安全に作品の搬出入を行うことができるようになりました。併せて、空調設備や電気設備等も整備いただきました。

また、昨年は日本庭園完成50周年の節目にあたる年でもあったことから、屋外イベント用幹線設備工事も行っていました。今年も整備いただいた設備を活かし、園内のライトアップなどにより、さらなる魅力向上に努めます。

石橋正二郎記念館では、新たに音声ガイドアプリを導入し、スマートフォンでも展示解説を楽しめるようになりました。このアプリ導入も石橋財団の支援によるものです。今年度、美術館では5つの展覧会を予定しています。

1963年に開館した石橋文化ホールは今年度60周年を迎えます。音響効果に優れたホールとして、優れたアーティストの公演や市民の皆さんの発表の場として長年親しまれています。今年度は開館60周年記念事業として、多彩な催しを予定しています。

2020年から続いた新型コロナウイルス感染症は5月から5類に引き下げられ、当財団もアフターコロナへの対応を進めていく必要があります。そのため、地域の文化芸術活動が本格的に再開できるよう後押しし、地域文化の活性化を図っていきます。

さらには、「石橋文化センターをひとつのミュージアムと捉えた活動」（ミュージアム化）として、展覧会とホールや園内事業との連携により、市民の皆さんに“楽しみと幸福の時間”を感じていただけるよう、魅力ある事業実施と環境整備に取り組んでまいります。

## II 重点的な取組み

2023年5月から新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられることを受け、本格的にアフターコロナへの対応を進めます。具体的には、基本計画（2021年度～2025年度）に基づき、計画の目標である2025年度の入園者70万人達成に向け、久留米市美術館を中核とした石橋文化センターの特性を活かした文化芸術の振興と市民の憩いの場としての充実に取り組めます。

### 1 アフターコロナと基本計画の推進

新型コロナウイルスの感染拡大から約3年に亘り、石橋文化センターでは施設の利用制限、事業の中止を余儀なくされるとともに、感染拡大防止対策に取り組んできました。このことにより、市民の皆さんの文化活動は大きく制限を受け、活動継続には多くの困難があったことがうかがわれます。

今後、社会が日常を取り戻していくためには、文化芸術が果たす役割は大きいものがあると考えています。当財団では、「基本計画」に基づき最終年度の目標達成に向けて組織全体でアフターコロナ対策に取り組んでいきます。

#### (1) アフターコロナにおける事業推進

5類への引き下げ後は、久留米市の方針に準じた対応を図りながら、施設の利用促進やイベント開催により、日常を取り戻せるよう取り組んでいきます。特に、観光・交通関連事業者への営業を中心に来園者増に向けた取組を推進します。

#### (2) コロナ禍における新たな取り組みの継続

コロナ禍において、施設内のWi-Fi整備やキャッシュレス化等を進めてきました。今後も可能な限り整備を進め、利便性向上を図ってまいります。また、動画配信を含むSNSの活用拡大に引き続き注力していきます。

#### (3) 美術館運営事業の充実

美術館は2022年10月に搬出入口等整備工事が完了し、国指定の文化財や海外の貴重な作品等を含む魅力的な展覧会が開催可能となりました。

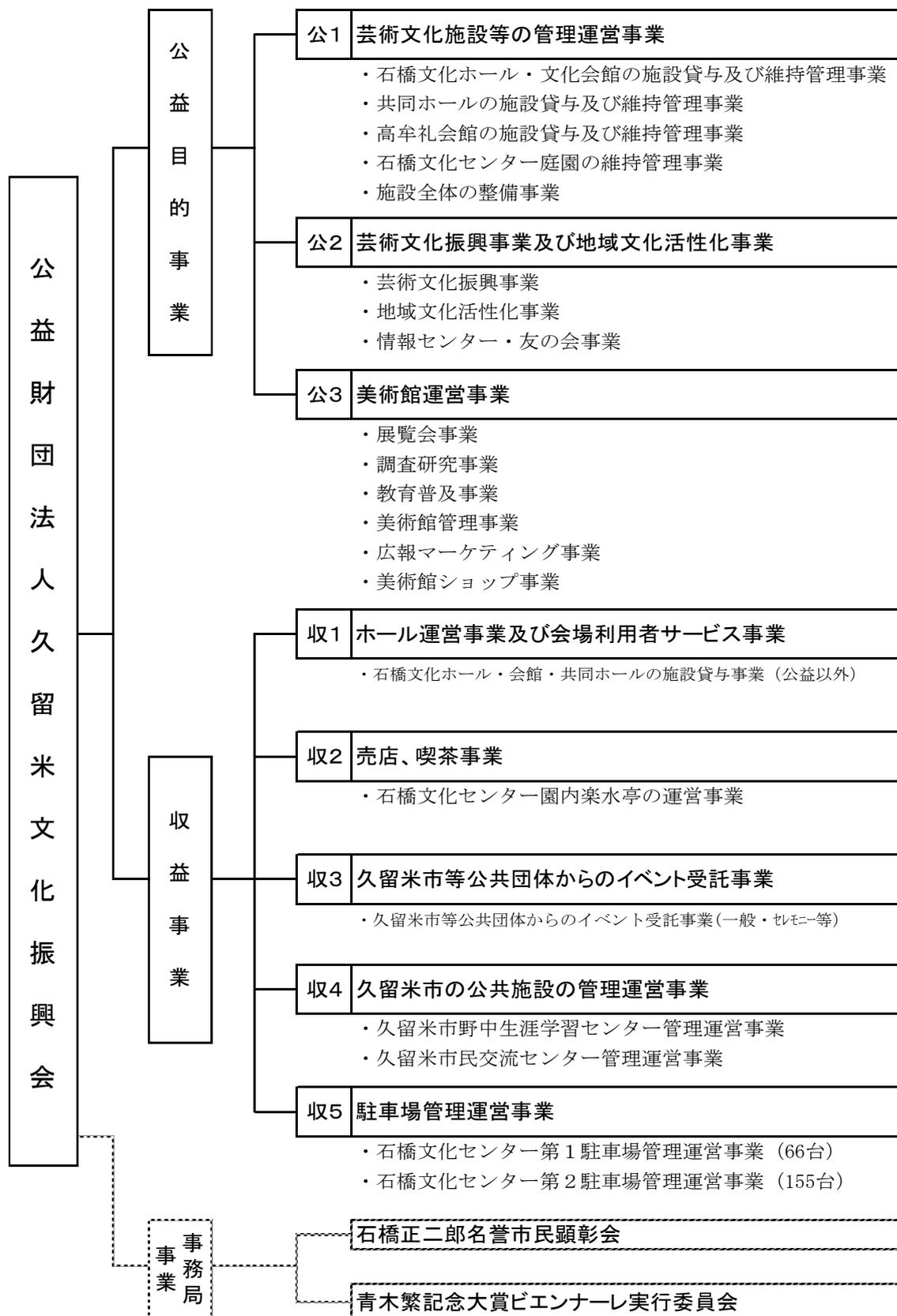
今後は、特色あるコレクションの体系的形成に貢献するとともに、通信、ネットワーク環境の進展も踏まえ、IT、デジタル技術を活用した調査研究活動にも取り組めます。

## 2 石橋文化ホール開館 60 周年記念事業の取組

1963 年に石橋正二郎氏から建設寄贈された石橋文化ホールは、今年度開館 60 周年を迎えます。正二郎氏がロビー壁面に「文化振興のために」と記し久留米市に寄贈したホールは、国内外のアーティストから音響効果で高い評価を受け、優れたアーティストの公演や市民の皆さんの発表の場として長年親しまれています。アフターコロナの中、多くの文化団体が日常を取り戻し、活動を再開していくための後押しをします。当財団も、開館 60 周年記念事業として、石橋文化ホールで多彩な催しを予定しています。

### Ⅲ 事業内容

#### 【公益財団法人久留米文化振興会事業体系】



## 【公益目的事業】

### 1 芸術文化施設の管理運営事業

石橋文化センター諸施設並びに高牟礼会館の維持管理及び施設貸与事業を行うことにより、芸術文化の振興と地域文化の活性化に取り組みます。

久留米市の方針に基づくアフターコロナへの対応を図りながら、これまで活動を制限されてきた利用者とともに日常を取り戻せるよう取り組み、市民の皆さんが芸術文化を楽しむことができる環境づくりに努めます。

また、石橋文化センター及び各施設の老朽化対策と魅力向上のための整備により、安全、安心、快適にご利用いただける文化施設を目指します。

#### (1) 施設の貸与事業

安心して施設利用ができるよう適切な感染防止対策に取り組みながら、文化活動のさらなる活性化と施設の利用促進を目指します。

##### ①石橋文化ホール・文化会館・共同ホール

庭園内に美術館等の文化施設が集積する恵まれた環境と良好な交通アクセス、大型バスも停めることができる駐車場等の利点をPRし、施設の利用促進を図ります。

また、「ちょっと気軽にスタインウェイ」など、安価な料金設定のサービスも積極的に実施し、市民が気軽に文化活動に参加できる機会を作っていきます。また、Wi-Fi整備や施設予約システムの見直しなど、利便性を高めるための環境整備を推進していきます。

##### ②高牟礼会館

施設の修繕や庭園整備などに努め、施設の老朽化対策に取り組みます。

また、利用団体・文化サークルによる作品展を広報することにより、市民が来館するきっかけ作りと施設のPRを図ります。

さらに、当館のあり方について、久留米市と協議を進めます。

#### (2) 施設の維持管理

##### ①庭園

昨年度実施した池の浚渫工事を契機に水生植物の再整備に取り組んでいます。この整備を通じてスイレンやしょうぶなどの魅力を高めるとともに、その他の花木の充実も図ります。また、今年度からバラの消毒を開園時間外に実施するなど、来園者にやさしい庭園管理も実施します。

これらの取組により、入園者の増加を目指します。

##### ②施設整備事業

各施設の利用、安全面を維持向上するための整備を行います。

- ・石橋文化ホール音響調整卓更新
- ・園路舗装工事（楽水亭北側主要幹線園路）

## 2 芸術文化振興事業及び地域文化活性化事業

アフターコロナを見据え、久留米市の方針に基づく対応を図りながら、徐々に日常を取り戻せるようホールや園内でコンサート等やイベントを実施します。特に、今年度は石橋文化ホールが開館 60 周年を迎えることから、様々な記念事業を実施します。

### (1) 芸術文化振興事業

今年度は、石橋文化ホールが開館 60 周年を迎えることから、記念事業として以下のコンサートを開催します。これらに加え、「メモリアルコンサート」として、ホールに縁が深い音楽団体の演奏会や「開運！なんでも鑑定団出張鑑定 in 久留米」も予定しています。

#### A 国内外の優れた芸術・舞台公演の鑑賞機会を提供する事業

- ・ドラゴンクエストコンサート
- ・上野通明チェロ・リサイタル
- ・森山良子コンサート

#### B 市民参加の文化振興事業

- ・第 34 回くるめ新人演奏会（新人音楽家によるコンサート）
- ・第 35 回くるめ音楽祭（吹奏楽祭・合唱祭・アンサンブルフェスティバル）
- ・第 52 回ニューイヤー・バンド・フェスティバル（吹奏楽合同バンド）

#### C 石橋文化センターミュージアム化事業

- ・ミュージアムコンサート「展覧会シリーズ」
- ・ハロウィン、クリスマス、バレンタイン等の季節に合わせたミュージアムイベント
- ・ガーデンテラスコンサート

#### D 次代を担う世代とともに行う振興事業～未来への種をまく事業～

- ・石橋文化センターこどもスケッチ大会
- ・古典芸能、音楽等の体験を行う学校への芸術家等派遣事業（受託事業）

### (2) 地域文化活性化事業

#### A 石橋文化センター園内の花や美術館を活用した市民参加の事業

バラやつばきなど四季折々の魅力をテーマとした「ななつの花めぐり」を中心に開催します。

- ・春・秋のバラフェア
- ・あじさい&はなしょうぶまつり
- ・もみじまつり
- ・春の花まつり

「梅まつり」「つばきまつり」「SAKURA・チューリップまつり」

- B 久留米市内の各地域でコンサート等を実施する市民参加の事業（受託）  
市民に音楽に触れる機会を提供するため、文化センター以外でもコンサート等を実施し、若手の人材育成、日本伝統音楽の振興を図ります。
- ・第9回くるめライブチャレンジ（仮称）
  - ・第6回邦楽振興事業 など

(3) 情報センター・友の会事業

- A 情報誌の発行・ホームページの運営  
情報誌「みどりのリズム」の発行（今年度から隔月発行に変更）  
ホームページ運営に加え、公式 LINE やインスタグラムなど新たなツールを活用した情報発信に努めます。
- B 友の会事業  
美術館主催展覧会の年間フリーパスを主な特典とし、会員の増加を図ります。
- C 情報センター事業  
石橋文化会館1階に加え、久留米シティプラザ内の「石橋文化センター情報サテライト」において、石橋文化センター、久留米市美術館の最新情報を中心に文化情報を発信します。

### 3 美術館運営事業

新たな美術館の基本方針に基づき、市民に親しまれる美術館を目指し、久留米市美術館と石橋正二郎記念館の指定管理者として管理運営を行います。

多彩な展覧会など、市民が良質な美術作品に触れる機会を提供するとともに、展覧会関連講座やイベントにより、鑑賞や創作の楽しみを伝えるよう取り組みます。また今年度から新たに、筑後ゆかりの作家を紹介する「ちくごist」展も開催します。

#### (1) 展覧会事業

- ① リアル（写実）のゆくえ 現代の作家たち 生きること、写すこと  
2月11日（土祝）～4月2日（日）（44日間うち2023年度は2日間）
- ② コレクションing4 野見山暁治の見た100年  
4月22日（土）～6月4日（日）
- ③ アーツ・アンド・クラフツとデザイン  
ウィリアム・モリスからフランク・ロイド・ライトまで  
6月17日（土）～8月17日（木）
- ④ 顕神の夢 一幻視の表現者― 村山槐多、関根正二から現代まで  
8月26日（土）～10月15日（日）
- ⑤ 芥川龍之介と美の世界 二人の先達―夏目漱石、菅虎雄  
10月28日（土）～2024年1月28日（日）  
※公益財団法人石橋財団特別助成
- ⑥ ちくごist 尾花成春  
2月10日（土）～4月14日（日）（57日間うち2023年度は45日間）

#### (2) 石橋正二郎記念館の運営

生涯を通じて、故郷である久留米市の発展に尽力した石橋正二郎氏の歩みやひととなり、様々な資料と石橋財団コレクション絵画展示により紹介するとともに、郷里の発展と文化振興を願い建設した石橋文化センターの芸術文化の拠点としての変遷を紹介します。また、今年1月から導入した持参のスマートフォンで音声ガイドや作品解説が楽しめるサービスを活用し記念館の入館を促進します。

- ① 第21期 石橋正二郎のコレクションの始まり  
2月11日（土祝）～4月16日（日）（44日間うち2023年度は14日間）
- ② 第22期 石橋正二郎と豊田勝秋  
4月22日（土）～8月20日（日）

- ③ 第23期 正二郎の生きた時代—1906 家業をつぐ  
8月26日(土)～10月22日(日)
- ④ 第24期 正二郎の生きた時代—1923 地下足袋販売  
10月28日(土)～2024年2月4日(日)
- ⑤ 第25期 正二郎の生きた時代—1930 国産タイヤ製造  
2月10日(土)～4月14日(日) (57日間うち2023年度は45日間)

(3) 調査研究事業

- ・作品収集、保存・修復のための調査研究
- ・作家・作品及び展覧会企画のための調査研究

(4) 教育普及事業

- ・展覧会に関する美術講座や体験講座の開催
- ・小中学生の美術館鑑賞受入れ
- ・博物館実習の受入れ
- ・展覧会や石橋正二郎記念館鑑賞の補助教材の制作
- ・坂本繁二郎旧アトリエでのアトリエトーク
- ・美術館ボランティア事業
- ・学校へのアウトリーチ事業

(5) 美術館管理事業

- ・作品鑑賞にふさわしい空間のための建物、空調設備などの維持管理
- ・ギャラリー貸与事業

(6) 広報マーケティング事業

- ・美術館及び美術館活動に関する情報発信 (SNS 等含む)

(7) 美術館ショップ事業

- ・所蔵品や展覧会の図録、関連書籍、こども向け画材などの販売
- ・絵はがきや作品を配したオリジナル商品の販売

#### 4 協賛・寄附制度

協賛制度は、久留米市美術館開館を契機とする「石橋文化センターをひとつのミュージアムと捉えた活動」などの久留米市美術館と石橋文化センター事業の支援と入園・入館者数の拡大を目的とした制度であり、今年度もより多くの企業、団体、個人の皆様に加入していただけるようPRに努めます。

また、花木の充実など園内の魅力向上に資するための寄附も募ります。

## 【収益事業】

### 1 ホール運営事業及び会場利用者サービス事業

利用者の要望を適切に把握し、看板や追加備品、装飾など、外注によるサービス提供についても積極的に提案し、利用者の負担軽減と包括的なサービス提供による利便性向上に努めます。

### 2 売店・喫茶事業

アフターコロナの動きが徐々に加速し、観光バスなどでの団体来園が増えることが期待されます。来園される団体客が楽水亭を利用するような営業努力を強化します。また、今年度は展覧会が約3年ぶりに年間を通じて開催されます。展覧会とのコラボメニューやグッズの開発に取り組み、美術館からの誘客を図ります。

### 3 久留米市等公共団体からのイベント受託事業（一般事業受託）

久留米市が主催する記念式典や開通式、表彰式など、当財団の事業ノウハウを活用し、公共イベントの円滑な運営に寄与します。

### 4 久留米市の公共施設の管理運営事業

#### (1) 久留米市野中生涯学習センター

5年間の指定管理期間の4年目となる今期は、WEB予約システムなど申込における利便性のさらなる向上に取り組むとともに、事業計画の各テーマに沿った魅力ある自主事業を実施し、市民サービス向上を図ります。

#### (2) 久留米市民交流センター（久留米市庁舎2階）

5年間の指定管理期間の最終年（5年目）となる今期は、老朽化した備品の調査など、環境整備・保全に向けた業務に取り組んでいきます。

### 5 駐車場管理運営事業

アフターコロナの動きが加速し、石橋文化センター利用者の回復と連動して、駐車場利用も増加することが想定されます。この動きを予測し、適切に警備員を配置し、安全な駐車場管理に努めます。また、観光バスや、市内宿泊施設利用の大型バス受け入れなど、団体利用についても積極的に受け入れ、駐車場の有効活用に取り組めます。

## 【事務局事業】

郷土に生まれた先達の功績を顕彰し、全国へ向けて発信するとともに、創作活動を奨励し、芸術文化のさらなる活性化に寄与します。

主に以下の事業の事務局機能を担い、関係団体との調整を十分に図り、効率的な運営と事業促進に努めます。

### 1 石橋正二郎名誉市民顕彰会

実行委員会では、石橋正二郎名誉市民の理念を広く伝える事業を実施します。

- ・墓前祭の実施
- ・久留米市美術館 講演と展覧会見学の開催
- ・ゆかりの地見学会

### 2 青木繁記念大賞ビエンナーレ実行委員会

過去 5 回にわたって開催した「青木繁記念大賞西日本美術展」を前身とし、前回の第 6 回展から事業名称を「青木繁記念大賞ビエンナーレ」とし、今年度、第 7 回青木繁記念大賞ビエンナーレ（ファイナル）を開催します。

## 参 考

### 公益財団法人久留米文化振興会基本計画の概要

■計画の期間 2021年度～2025年度（5年間）

■計画の目標 2025年度入園者を70万人と設定

#### 1. 石橋文化センターの特性を活かした文化芸術の振興と市民の憩いの場としてのさらなる充実

庭園、美術館、ホールのそれぞれの機能を十分に発揮するとともに、石橋文化センターの特性である各施設の連携による事業展開を更に強化し文化芸術の振興を図ります。

##### （1）楽しみと幸福の時間が溢れる庭園

###### ①魅力あふれる庭園づくり

バラ園や紅葉など庭園の魅力向上を進め、SNS等により積極的に発信していきます。

###### ②庭園を活かした取り組み

ライトアップなどによる「ななつの花めぐり事業」の魅力向上と、観光施設として庭園を活かした取り組みを推進します。

###### ③庭園の安全性、快適性の維持向上

老朽化した樹木や設備の改修、風水害対策を進めていきます。また、利用者目線でのバリアフリー対策など、快適性の向上を図ります。

##### （2）とき・ひと・美をむすぶ美術館

###### ①作品の保管と継承

特色あるコレクション形成と施設環境の維持向上に努めます。

###### ②良質な美術体験の提供

多彩な展覧会など、市民が良質な美術作品に触れる機会を提供します。

###### ③楽しみと学びの支援

展覧会関連講座やイベントにより、鑑賞や創作の楽しみを伝えるとともに、学校教育との更なる連携について検討します。

###### ④施設の安全性、快適性の維持向上

建物・設備のメンテナンス、風水害、感染防止対策に取り組めます。

### (3) 人々の多様な活動と創造性を育むホール

#### ①ホール特性を活かした取り組み

市民の文化活動の支援とホール特性を活かした事業を実施します。

#### ②ホール利用を促進する取り組み

ホールを利用しやすくする仕組みづくりや市民のホールへの関心を高める事業に取り組み、新規利用者の開拓に努めます。

#### ③施設の安全性、快適性の維持向上

建物・設備の適切なメンテナンスに努めます。さらに風水害対策、感染防止対策にも取り組みます。

## 2. 様々な地域や場面における文化芸術の振興

久留米市と車の両輪となり、石橋文化センターのみならず、様々な地域や場面における事業展開を図ります。

### (1) 地域に芽生える文化芸術を育む取り組み

#### ①芸術家派遣事業など学校でのアウトリーチ事業

#### ②音楽の力を活かしたまちづくりの推進

#### ③青木繁記念大賞ビエンナーレ

### (2) ノウハウを活かした地域拠点の管理運営

#### ①野中生涯学習センター、市民交流センター（指定管理施設）

#### ②高牟礼会館（無償貸与）

#### ③情報サテライト（久留米シティプラザ内）

## 3. 基本計画を支える基盤づくり

基本計画に掲げる様々な活動を展開していくために、自然災害や感染症などの猛威にも強い施設づくりや、多くのファンやサポーターの支えなど、しっかりとした基盤づくりが重要です。

### (1) 危機管理

危機管理マニュアルや業務継続計画（BCP）を活用した適切な管理

### (2) 新たな財源の創出

協賛制度の推進や寄附制度の周知

**(3) ブランディングと広報戦略**

ブランディングの深化と石橋文化センターをひとつのミュージアムと捉えた活動の推進。

広報誌やWEB サイト、SNS などによる情報発信力の強化。

**(4) サポーター制度の拡充**

友の会制度の充実や各種サポーター制度の一元管理

**(5) 人材育成・芸術家支援**

職員の人材育成と芸術家等の支援

**(6) バリアフリーの推進**

ハード面・ソフト面ともに法に対応したバリアフリー化

**(7) 総合的な施設整備計画**

石橋文化センター各施設の総合的な中長期の整備計画立案